

Date:2017/9/26

パパ・ママはどんなお仕事をしているのかな？

～担い手確保の取組みとして親子見学会を行いました～

8月23日(水)利賀ダム工事現場と上百瀬土砂災害現場にて親子見学会を開催しました。子どもたちに普段見ることのできないおひるに仕事をしているパパ・ママと一緒に見学してもらうことで、家族の仕事への理解を深めるとともに、建設業の将来の担い手になってもらいたいという主旨の基、利賀村建設業協会と合同で企画したものです。子どもたちは各現場に直接携わっているパパ・ママから説明を受けたり、機械操作体験等を行いました。

親子見学会実施状況 (受発注者親子)

長崎橋 ▶



▲ 庄川橋梁



▲ ダムサイト展望台



▲ 上百瀬(無人バックホウ)

今回の見学会を通じて、以下の感想をいただきました。(一部抜粋)

参加した子供から

- ・お父さんの仕事を見学して思ったことは、家であまり仕事の話をしていないのでどんな仕事をしているのか知ることができてよかった。
- ・今日の見学で、水をためておいたりして、雨が降らなくて水がへってしまったときにそのダムの水を使ったりしてみんなが困らないようにしている仕事ということが分かりました。
- ・とが村で生活するためにがんばってもらっているなとかんじました。ぼくは、しょうらいこういう仕事がしたいです。
- ・わたしは、この仕事見学で、お父さんのしている仕事はすごくやくにたつ仕事だなと思いました。
- ・私のお父さんも、いつも大変なことなどを毎日しているので家で「休んでいいよ。」といってあげたいと思うようになりました。

参加したパパ・ママから

- ・これからは家庭でも子供と仕事の話をする時間を作っていきたいと思います。
- ・子どもには、こんな仕事をしているところ...と折を見て話しているが、建設現場を間近で見せられる機会はこれまでに無く、良い機会だった。
- ・親の仕事の内容や土木工事の重要性を理解できたようで大変嬉しく感じました。



楽しかったです。将来おっきくなったら
こういう関係の仕事をしたい。



心温まる感想をありがとうございました。
今回の見学会を期に親子ともに仲を深め、建設業に興味を持っていただければ幸いです。